

宇都宮市立城山中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「携帯電話・スマートフォンの使い方について、家の人との約束を守っていますか」の肯定的割合が昨年度に引き続き、全国平均を11ポイント上回っている。また、ゲームの時間や携帯電話、スマートフォンの使用時間も全国平均より少ない時間となっているため、3年生が周囲の助言を素直に受け止め、守っている状況がわかる。

○「将来の夢や目標を持っているか」の設問でも肯定的割合が全国平均を10ポイント

以上上回っている。

○学習面では、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の設問で

肯定的割合が21.5ポイント上回っている。

○普段の1日当たりの勉強時間に関しても、「3時間以上」が全国平均を2ポイント、「2時間以上」が2ポイント上回っていて、家庭学習は全体的にできている様子

がわかる。

○「道徳の授業では、自分の

考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいるか」の設問での肯定的な割合が98ポイント以上で、全国平均より 13ポイント上回っている。

○国語、数学、理科に関する設問では、すべての設問で肯定的割合が高かった。解答時間が足りなかった教科がほとんどで、学力調査の結果、どの教科も全国平均より若干下回っている傾向があり、今後は学習内容の定着とテストにおける時間配分なども指導していく。

●「普段授業以外で読書をどのくらいし

ているか」の「2時間以上」の回答は0ポイント、「1時間から2時間」、「10分より少ない」も全国平均をポイント以上下回っている。「読書が好きか」の設問では肯定的割合は全国平均を12ポイント上回っているが、家では家庭学習やPCやスマホの使用時間が多いため読書時間が取れない様子である。

●学校で学級の生徒との意見交換をする場面でのPCなどのICT機器使用に関する設問で、「ほぼ毎日」、「週3回以上」「週1回以上」の回答率が全国平均を1ポイント程度下回っていて、調べ学習以外での使用があまりない生徒が多い。

宇都宮市立城山中学校（第3学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学習目標の明確化と定着のための振り返りの充実、指導法や授業形態の工夫による学力の向上	・「本時の目標」の掲示カードを各教室に用意して授業開始で学習目標を確認、最後に振り返りを行うことで学力定着の充実を図る。 ・「宿題プラスワン」を地域学校園での合言葉とし、小学校からの継続した家庭学習の定着を図る。	・「学習した内容について、分かった点や良く分からなかった点を見直し、次の学習につなげているか」で、肯定的回答の生徒は87.7%で、全国平均を13ポイント上回っていた。 ・「家で計画を立てて勉強をする」では、肯定的回答の生徒は80%で、全国平均を21.5ポイント上回り、休日の学習時間も4時間以上が全国平均を上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「学校で、学級の生徒との意見を交換する場面、PC・タブレットなどICT機器を、どの程度活用しているか」で、「ほぼ毎日」が全国平均を0.6ポイント、「週3回以上」も1.7ポイント下回っていた。	学習におけるICT機器の使用の工夫	各教科で、クロームブックを使用する教科が増えている。どの教科でも話し合いやまともに使用したり、生徒会活動等に使用する機会をさらに増やしていく。